

# 道徳学習指導案

1. 日 時 平成24年11月15日(木) 第2時限(9:35～10:20)
2. 学 年 小学校3年生
3. 主 題 美しくやさしい心 3-(3) 敬虔
4. 資料名 「しあわせの王子」(出典 東京書籍「どうとく3 明るい心で」)  
「しあわせな王子」(出典 ㈱フロンティアニセン ジャぶじゃぶ紙芝居)
5. ねらい 美しくやさしい心に感動し、それを大切にしようとする心情を育てる。

## 6. 主題設定の理由

### (1) ねらいとする価値について

本資料の内容項目は、3-(3)「美しいものや気高いものに感動する心をもつ。」である。

美しいものや気高いものに触れた時、素直に「美しいな」「素敵だな」「いいな」と感動できる心を育むことは大切である。

美しいもの、清らかなものへのあこがれは、謙虚や誠実な心から生まれる。驕慢で自己本位な心からは生まれない。美しいものは、自然の雄大さや荘厳さだけでなく、己をかえりみず、人のために尽くした行為にあり、気高さや清らかさを見ることができる。

今回の授業では、心洗われる清らかな物語に触れ、感動することによって、人の心の美しさについて考えることによって、より豊かな心を耕していきたいと思い、この主題を設定した。

### (2) 児童の実態について 略

### (3) 資料について

本資料は、町の人々に「しあわせの王子」と呼ばれ、金箔や宝石で包まれた王子の像が、自己を犠牲にしながらも、恵まれない人々に尽くす姿と、それに心打たれて王子に寄り添う一匹のつばめの物語である。

王子の心や、王子に心打たれて変化していくつばめの心を考えさせ、美しい心、気高い心を味わうことで、ねらいに迫りたい。

今回の授業では、物語の情景がより伝わるように、紙芝居形式をとった。読み聞かせの文章には、副読本(東京書籍)の文章を元に、一部、紙芝居の文章を追加し、編集したものを使った。資料のもつあたたかい雰囲気を大切に指導していきたい。

## 7. 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点
導 入	1. 「天使が地上で見つけた“美しいもの”が何か」を考える。	○空にいた天使が地上に降りてきて、“美しいもの”を見つけました。どんな美しいものを見つけたのかを考えながら、お話を聞きましょう。	・本時の学習への課題意識を高めさせる。
展 開	2. 紙芝居「しあわせの王子」を聞いて、王子やつばめの心情を話し合う。	○つばめは、王子に「一晩だけ、私のために働いてくれないか。」と言われた時、どんな気持ちだったでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・急いでいるけど、一晩だけなら手伝おうかな。</li> <li>・王子は、私にどんなことを頼みたいのかな。</li> </ul> ○つばめが、「王子さまは、もう何も見えませんね。私がいつまでもそばにおりますよ。」と言った時、どんな気持ちだったでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・王子のために、これからずっと困っている人を助けよう。</li> <li>・王子の代わりにできるのは、私しかない。</li> <li>・目の見えない王子に、町の様子を伝えよう。</li> </ul> ○王子は、どんな気持ちで自分の体の宝石や金ばくを困っている人にあげたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている人が助かってほしい。</li> <li>・これで幸せになってくれたらうれしい。</li> <li>・この宝石や金ばくを大事に使ってほしい。</li> </ul> ◎天に上っていく王子の心とつばめに、天使はどんな言葉をかけたでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の人のために、がんばっていたのを見ていたよ。</li> <li>・一緒に天国に行って、ゆっくりしようね。</li> <li>・王子やつばめの姿を見て、感動したよ。</li> </ul>	・紙芝居は、余韻を残すように読み聞かせる。  ・初めの頼みを聞いた時と、王子の目が見えなくなった時のつばめの心の変化を比べ、王子の内面の美しさに共感させる。  ・王子の体が、金色の美しさからねずみ色になってしまったことをおさえる。 ・王子の、人のために尽くす心に共感させる。  ・「もし、自分が天使だったら。」と考えるようにする。 (ワークシート)
終 末	3. 絵本「わすれられないおくりもの」を聞く。		・感動の余韻を残して終わるようにする。